

校長だより第6号

令和7年11月4日

くすのき

学校教育目標：学びいっぱい 笑顔いっぱい 元気いっぱいの「三坂地っ子」の育成



小中一貫あいさつ運動・呉の子どもを守る会議啓発活動

広中央中学校区の取組として、今年度も「小中一貫あいさつ運動」を行っています。

本校の5・6年生児童と、広中央中学校生徒会の皆さんを中心に、朝早くから登校児童に元気な声をかける姿は、本校児童にとっても大きな励みとなっています。また、小学生と中学生があいさつを交わすことでの、互いをより身近に感じ、連携が一層深まっています。11月4日（火）には、呉の子どもを守る会議啓発活動として、本校学校運営協議会会长田村様やPTA執行部の皆様にもお越しいただきました。

あいさつは、相手への敬意と好意を伝える第一歩であり、児童の社会性や自己肯定感を育む大切な基盤です。さらに、あいさつが活発な地域では、住民同士のつながりや連帯感が生まれ、不審者の出現を抑止し、いざというときの協力にもつながります。その意味でも、防犯・防災の観点からあいさつは極めて重要です。

今後も、笑顔があふれるあいさついっぱいの三坂地小学校を目指して、取組を進めてまいります。



第4回広中央中学校区合同研修会～研究授業～

10月31日（金）、広中央中学校において、第4回中学校区合同研修会の研究授業を実施しました。第2学年の理科および第3学年の英語科の授業を参観後、本中学校区の研究主題である「個を大切にした支援」と「かかわりの場の設定」を視点に据え、校種を超えて活発な協議を行いました。協議後には、呉市教育委員会の本谷主査様、下正指導主事様より、各教科についてご指導をいただきました。さらに、岩城指導主事様からは、「教師が教えることを児童生徒が学ぶことに転化していく授業改善」についてご指導・ご助言をいただきました。

今回の研修を踏まえ、小中が一体となって「主体的に学び心豊かにたくましく生きる児童生徒の育成」に向けた連携をさらに深め、今後も研究を進めてまいります。

